

学科横断型学習教室整備設計特記仕様書

1 対象施設及び改修箇所

対象施設：宇和島南中等教育学校 第3教棟

改修箇所：4階 341教室及び342教室

2 設計構想

学科横断型学習教室の形式は多目的室を基本形とするが、可動式の間仕切壁や家具、各所に設けられたホワイトボードや電源等により、あらゆる学習形態に対応できる『可変性の高い空間構成』を理想形とする。

3 設計概要

対象施設において、原則として下表に掲げる改修工事設計を行うこと。

床改修	・フリーアクセスフロア（タイルカーペット仕上）とする ・上履きでの利用を想定し、必要に応じて靴脱ぎ場を設置する
天井改修	・必要に応じて改修を行う
壁改修	・既存の壁面に対し、広範囲をホワイトボード化または塗装改修 ・必要に応じて、間仕切り壁の解体を検討する
可動壁設置	・パネル部がホワイトボードとなっているものを採用 ・高さの仕様については、原則ハイパーテーションとする
建具改修	(内部建具) ・出入口等について、鋼製または樹脂製建具へ改修 ・必要に応じて配置替えを検討すること (外部窓) ・暗幕や遮光カーテン等を設置
照明改修	・照明のLED化改修を行う
電源増設	・電源の増設を行う ・箇所については、壁面、床下またはダクトレールを設ける
空調設備工事	・必要な空調設備工事を行う
基本配置	・常設の備品（家具、実習機材など）の基本配置を検討する ※ 備品リストについては落札者に提示する ※ 備品の選定に関しては業務対象外 ※ 必要に応じて収納スペースを設けること

- ・ 通信環境の整備については別途事業において実施することになるが、配線スペースの検討など、必要な事業間の調整を行うこと
- ・ 上記に掲げる改修内容のうち、新たに実施する必要が無いものについては、監督員と協議のうえ、業務対象外とする
- ・ 上記に掲げる改修が困難である場合は、監督員と協議のうえ方針を決定すること
- ・ 作業動線及び作業エリアについては、施設利用者の安全性に配慮した計画とすること
- ・ 原則として居ながら改修となるため、教育環境に配慮した工事手順を検討すること
- ・ 既存図面については落札者に提示するが、改修設計にあたっては現地確認を行うこと